

ICT・AIを活用した観光渋滞対策

- 観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)

エリアマネジメント

観光交通イノベーション地域



交通需要マネジメント(TDM)

信号制御、交通規制等

道路空間の再編

等

今年度秋頃から複数の観光地(2~3箇所公募・選定)で実験開始予定

(参考) 主なICTの例

ETC2.0

ETC2.0車載器と路側機との通信により、プローブ情報(位置、速度、急ブレーキ、経路等)を収集



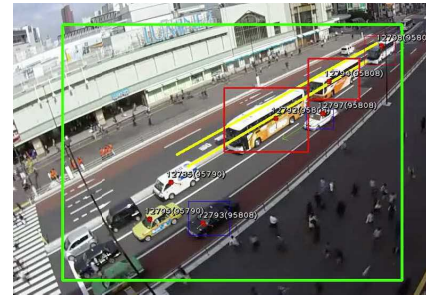
※柔軟に設置・計測が可能な、可搬型のETC2.0路側機について、今年秋頃より導入予定

AIカメラ



AIによる画像処理で交通量調査、自動車起終点調査をIT化

車(交通量等)

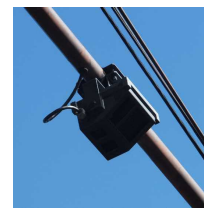


人(利用者数)



高度化光ビーコン

高度化光ビーコン



- ・渋滞情報・旅行時間情報
- ・信号情報等



- ・プローブ情報等



高度化光ビーコンと対応車載機との双方向通信により、交通情報(渋滞、旅行時間、信号情報等)の提供、プローブ情報等の収集

今後のスケジュール(案)

8月2日(水)~21日(月)

観光交通イノベーション地域*

公募(2~3地域)

※ 国土交通省で、警察や観光部局とも連携しながら、
実験・実装を重点的に支援

※ 今後、エリアプライシングの導入を検討している地域

9月頃 地域選定

今後継続的に取組

実験(H29年秋頃から)

まずは、ETC2.0等の既存の技術をフル活用し
詳細分析をした上で、H30年度より新たな
技術の実証を行う予定

実装

他の観光地への展開

オープンイノベーション

(産・学)

- 新たな要素技術の公募
- オープンデータ (H29秋頃から)
- 新たなエリアマネジメント方策の提案

新技術を適用するための
制度検討 (官)

観光交通イノベーション地域の公募について(概要)

1. 公募概要

(1)公募期間	平成29年8月2日(水)～8月21日(月)
(2)応募主体	<ul style="list-style-type: none">・ 広域的に渋滞が生じている観光地の市町村(もしくは都道府県)・ 今後、エリアプライシングの導入を検討している地域
(3)企画提案	<ol style="list-style-type: none">① 地域の課題(地域の観光特性、観光渋滞の状況等)② これまでの取組(ソフト・ハードを含めた渋滞対策の実施状況 等)③ 今後の取組方針(今後実施予定、又は検討中の渋滞対策 等)

2. 主な評価の視点

(1)的確性	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の課題に対応した取組となっているか。
(2)実行性	<ul style="list-style-type: none">・ 関係者との連携体制が既に構築されている。又は構築の見込みがあるか。
(3)具体性	<ul style="list-style-type: none">・ これまでの取組結果を踏まえた今後の取組内容が具体的に示されているか。
(4)その他	<ul style="list-style-type: none">・ 公募の趣旨に合致しているか。

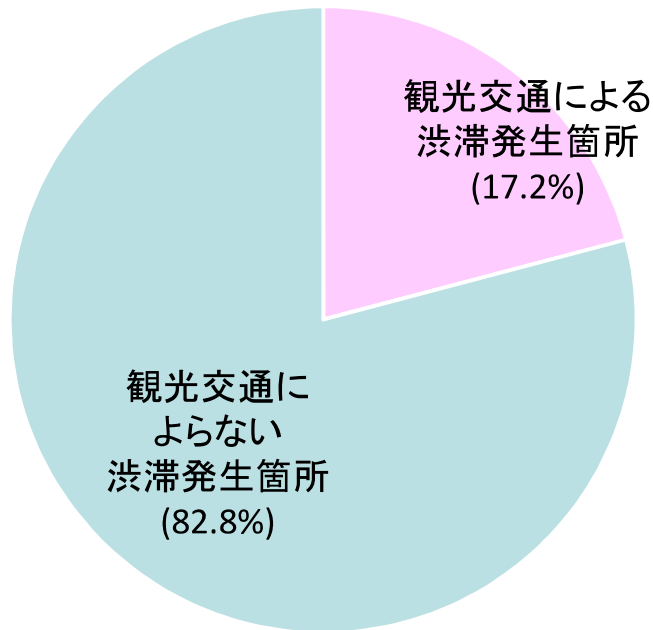
3. 今後の予定

9月頃: 観光地の2～3地域を選定

観光地周辺の渋滞

主要渋滞箇所の約2割で観光交通による渋滞が発生

■観光地周辺の主要渋滞箇所

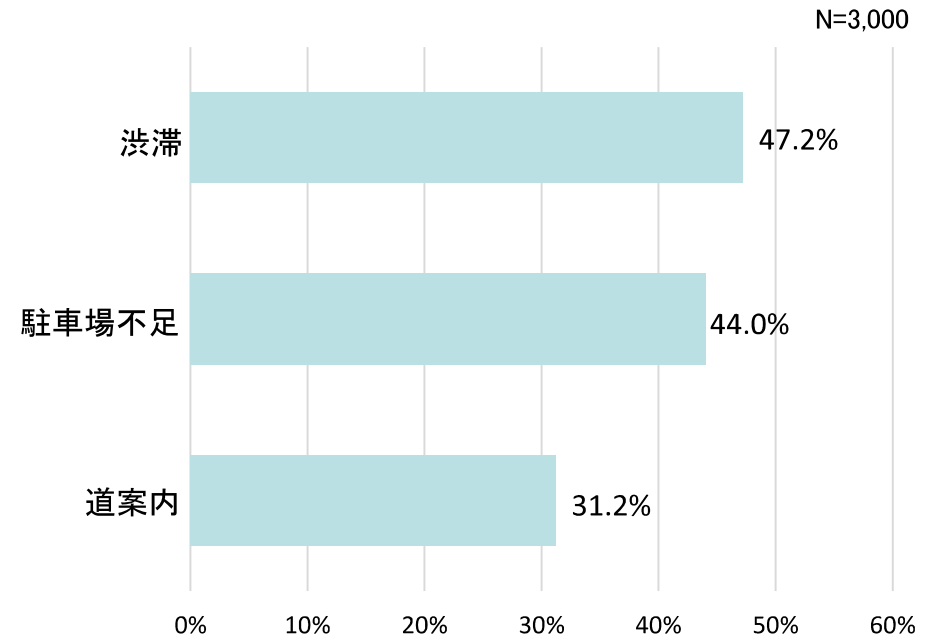


N(主要渋滞箇所数)=9099箇所
※H27年12月時点の箇所数
出典)国土交通省調べ

日本人観光客の不満

観光客の約半数が「渋滞」「駐車場」「道案内」に不満

■日本人観光客の不満



出典)国土交通省調べ